

ホスピス緩和ケア週間

in Tokushima 2009

ホスピス緩和ケア週間 in Tokushima 2009

近藤内科病院はホスピス徳島がん基金と共同で「ホスピス緩和ケア週間 in Tokushima」を企画し、今回で3回目の開催になりました。2009年は9月27日(日)は講演会、10月3日(土)には前夜祭の野外コンサート、10月4日～10日の間は県下各地でのパネル展を企画開催しました。幸い天候に恵まれて多数の市民の皆様の参加で盛会のうちに終了致しました。ご協力頂いたボランティアの皆様に感謝致します。

この週間は、10月10日の「世界ホスピス緩和ケアデー(World Hospice & Palliative Care Day)」にあわせて、日本ホスピス緩和ケア協会では10月4日～10月10日を「ホスピス緩和ケア週間」とし、全国のホスピスで様々なイベントが開催されるものです。徳島でもホスピス徳島がん基金が中心になり、今年は日本ホスピス緩和ケア協会と共催して「ホスピス緩和ケア週間 in Tokushima 2009」と題して下記のイベントを開催しました。

前夜祭 野外コンサート:平成21年10月3日(土) パネル展:平成21年10月3日(土)～10日(土)

野外コンサートは近藤内科病院 [ホスピス徳島] 緩和ケアガーデンにて行われました。天候にも恵まれ、200名を超える参加があり、地元小学生による津田祭り太鼓、女声合唱団「鸞」、徳島交響楽団による演奏を楽しみました。近藤内科病院では同日よりホスピス緩和ケアパネル展を開催し、参加者にホスピス緩和ケアの啓蒙を行いました。パネルは、近藤内科病院 [ホスピス徳島]、徳島大学病院、徳島赤十字病院、徳島県立中央病院、徳島往診クリニック、徳島市医師会、阿南医師会中央病院の共同製作。徳島県庁、ふれあい健康館、各病院に掲示し、施設を利用される方々へホスピス緩和ケアの普及・啓蒙を行いました。

前夜祭 野外コンサート



パネル展



第4回徳島がん市民セミナー：平成21年9月27日(日)

4回目を数える「徳島がん市民セミナー」はホテルクレメントで開催されました。今回は「緩和ケア」をテーマに一般市民、医療関係者等を対象に講演会を企画しました。一般市民の方約130名、医療者を含めて計160名と多数の参加があり講演は大変好評でした。仙谷由人新大臣からがんについての国の政策をお話して頂き、その後講師の堀泰祐先生、沼野尚美先生のお話で大勢の方が熱心に耳を傾けられ、参加者は有意義な時間を過ごすことができました。

セミナー終了後、ボランティアが徳島駅前街頭にて日本緩和医療学会のシンボルグッズである「オレンジバルーン」を配布し、ホスピス緩和ケアの普及活動を行いました。

がんになって、思うこと、生きること



滋賀県立成人病センター
緩和ケア科 主任部長

堀 泰祐 先生

(講演要旨)

分かったように思っている、実際に自分で体験しないと分からないことは多いと思います。私も、外科医から緩和ケア医になるまで、日常的に診断の初期から終末期までのがん患者さんに接していました。患者さんの心のケアにも取り組んできたつもりでした。しかし、実際に自分ががんを患ってみて、初めて分かったことややっぱりそうだったのかと再確認することがありました。私の経験を通して、緩和ケアの必要性を改めて認識し、今後の在り方についても考えてみました。

私は、昨年9月に手術を受けましたので、ようやく1年が過ぎたばかりの、がん初心者ですが、この1年間思うことがたくさんありました。

がんは思いもかけず、突然発見されました。多くの患者が「目の前が真っ白になる」という衝撃を私も受けました。医師としての冷静さは失わなかったと思いますが、不安に思う気持ちは、多くのがん患者さんと同じでした。手術は無事に終わりましたが、結果は思ったより進んでいて、これにもショックを受けました。抗がん治療を続けていますが、副作用あるものの、その意味についても再認識しました。

再発の恐怖に向き合うこと、安易な励ましに心が傷つくこと、体調が劇的に変化することなど、辛い経験もありました。一方で、心に寄り添う言葉に癒され、共にいてくれる家族の存在の大きさに気づいたり、同病の患者に励まされたりしました。

自分にとって本当に大切なものを大切にする気持ちを強く持ちました。今日、与えられた日をいつくしむ気持ちも強くなりました。このような心のありようは、多くの人々に支えられて初めて持てるものだ実感しています。

緩和ケアは、一人ひとりの患者に真摯に向き合い、心に寄り添うケアが最も重要だと感じています。



六甲病院 緩和ケア病棟
チャプレン・カウンセラー

沼野 尚美 先生

(講演要旨)

ホスピス病棟で、25年前から勤務するようになり、多くの末期患者さんの生き方に、心のケア担当者として、関わる機会を得てきました。

病める人独自の思いに触れる中で、今をどう生きるかの心得を学んできましたので、お分ちさせて頂きたいと思います。

まず1つは、自分の人生に納得した生き方をしておくということです。手遅れ状態になった時、人は死にたくない、生きたいという心の葛藤を持ちます。そしてやがて心が楽になれる道を求めるようになります。現実を否定したり、現実から逃げると、もっと心が苦しくなると感じてか、現実を受け止める作業が必要であることに気づき、何かをしようとする姿を見て参りました。自分の死と向き合わざるを得ない時、人は、自分の人生に **YES** と言うための作業、自分の人生に納得する何かが必要になるということです。そのために、ホスピス病棟から最後に行きたい所に行ったり、作品を仕上げたりされる患者さんがおられますが、元気なうちから、自分で納得できる生き方をしておられた方は、心の葛藤が小さく、特別な作業を必要とされません。

2つ目は、人生の中で後悔、反省をしていることがある場合、特に、家族に対して謝る必要がある場合、日頃から「ごめんね」と謝っておくことが大切です。他人の場合は、相手から謝罪がなくても、その人の死によってある程度、怒りを水に流すことができますが、家族の場合は、謝るべき人がきちんと謝っておかないと、残る家族の人たちの心に、いつまでもしこりが、残ってしまうのです。家族間で謝るのは、気はずかしさもありますが、日頃から、「ごめんね」と言い合える空気を作っておくことが大切です。ホスピス病棟にやっておられて、人生の最後に、夫や妻、子供たちに謝罪する勇気がやっと持てる患者さんもおられます。

3つ目は、ユーモアのセンスを育てておきましょう。旅立ちが近い患者さんから、「今までお世話になりました」と挨拶を頂いた時、「また天国でお会いしましょうね」と伝えると、「天国のどこで?」と言われたことがあります。互いに最後の別れの挨拶をしている緊張した場面だったのに、ユーモアのおかげで、互いに笑い合い、場の空気はぐっと温かくやわらぎました。ユーモアのセンスを育てるためには、視点の転換、想像力、表現力の訓練が必要です。

4つ目は、死を超えても、家族の絆を保持できる希望を、家族と共有しておこうということです。旅立ち前に、妻に「生まれかわっても一緒になりたい」と再プロポーズした患者さんがおられました。「喜んで」と言ってくれる妻もいれば、「あなたのお酒が気に入らなかったから、あなたとは、今回きりにしたい」と答えた妻もおられました。家族の絆は育てておかなければなりません。人生の最後に、こんなはずではなかったと思うことがないように、今から家族を大切にしておきましょう。

平成 21 年度若葉会賞は 3 名の医学部留学生に寄与されました。

医科学教育部 医学専攻 医療情報学 博士課程 2 年次 08 年入学	バトトゥルガ バヤンムンク Battulga Bayanmunkh	医療情報学
医科学教育部 プロテオミクス医科学専攻 博士課程 2 年次 07 秋入学	チュイ チュウ 崔 衢	生体情報内科学
栄養生命科学教育部 人間栄養科学専攻 博士後期課程 2 年次 07 秋入学	ス ゴホン 蘇 澤紅	予防環境栄養学

Information

●健康教室のお知らせ

1 月の健康教室

1 月 21 日(木) 14:30～

「メタボリックシンドロームと脳梗塞」

近藤内科病院 3 階カンファレンスルームにて

2 月の健康教室

2 月 24 日(水) 14:30～

「メタボリックシンドロームと心筋梗塞」

近藤内科病院 3 階カンファレンスルームにて



●ホスピス緩和ケア研修会 2010 年 2 月 7 日(日)

9 時 30 分～12 時 20 分 徳島県医師会館にて (医療者対象)

1. スピリチュアルケアーホスピス・緩和ケアの核ー ノートルダム女子大学教授 村田久行先生
2. 徳島での緩和ケアネットワーク パネルディスカッション

●第 5 回徳島がん市民セミナー 2010 年 3 月 14 日(日)

10 時～12 時 ホテルクレメント徳島にて

1. 乳癌の治療～最新情報～ 川崎医科大学 乳腺甲状腺科教授 園尾博司先生
2. がんは克服できるか～化学療法の役割～ 三沢市立三沢病院 院長 坂田優先生

●四国中国死の臨床研究会地方会 2010 年 5 月 30 日(日)

徳島大学蔵本キャンパス長井記念ホールにて

●行事予定

2009 年

12 月 30 日(水) 餅つき大会

近藤内科病院 1 階 緩和ケアガーデンにて

2010 年

1 月 4 日(月) 年明け診察開始

1 月 人形浄瑠璃公演

近藤内科病院 1 階 緩和ケアラウンジにて

2 月 ミニコンサート

近藤内科病院 1 階 緩和ケアラウンジにて



皆様からのご意見をお待ちしております

わかば通信に関するご意見・ご感想をお待ちしております。

本広報誌をより良くするために皆様からの率直なご意見をお寄せ下さい。

【近藤内科病院 広報委員会】